

2004年3月期 中間決算説明会

平成15年11月11日

NTN株式会社

本資料、プレゼンテーションおよび引き続き行われる質疑応答の際の回答には、将来の業績見通し、事業戦略が含まれており、それらは現在入手可能な情報から得られた当社経営者の判断に基づいております。

これらの将来的予測に基づく記載や発言は将来の実績を保証するものではなく、実際の結果が製品に対する需要変動、為替変動、金利変動などの様々な要素により、業績見通しとは異なる結果となりうることをご承知おき下さい。

本日のスケジュール

・2004年3月期中間決算と通期見通し(連結)

代表取締役専務 井山尚一

・事業構造改革「NEW Plan21」の進捗と今後の戦略

1. 営業開発の成果

代表取締役副社長 後藤雍裕

2. 人件費構造改革の成果

常務取締役 泊 浩之

3. 中国戦略

4. 流体動圧軸受事業の展望

代表取締役社長 鈴木泰信

5. 生産再編成

・質疑

2004年3月期中間決算と 通期見通し(連結)

平成15年11月11日

NTN株式会社

代表取締役専務 井山尚一

本資料、プレゼンテーションおよび引き続き行われる質疑応答の際の回答には、将来の業績見通し、事業戦略が含まれており、それらは現在入手可能な情報から得られた当社経営者の判断に基づいております。

これらの将来的予測に基づく記載や発言は将来の実績を保証するものではなく、実際の結果が製品に対する需要変動、為替変動、金利変動などの様々な要素により、業績見通しとは異なる結果となりうることをご承知おき下さい。

. 2004年3月期中間決算と通期見通し(連結)

1. 売上高・利益
2. 部門別売上高
3. 地域別売上高
4. 事業構造改革と営業利益の増減
5. 営業利益増減説明
6. 棚卸資産・有利子負債
7. 設備投資・資金源泉
8. キャッシュ・フロー

1. 売上高・利益

単位: 億円

	前中間期 ('02/9)	当中間期 ('03/9)	対前中間期 増減	前期 ('03/3)	当期(予想) ('04/3)	対前期 増減
売上高	1,668	1,755	87	3,427	3,530	103
営業利益	84	113	29	208	250	42
経常利益	48	99	52	162	210	48
特別損益	-	-	-	100	25	75
当期純利益	27	64	36	27	120	93
為替レート						
US \$	123.07	118.08	4.99	121.98	114.04	7.94
EURO	116.92	133.51	16.59	120.88	129.26	8.38

2. 部門別売上高

'03年9月中間期 軸 受：北米では減少、国内一般機械向け・欧州自動車向け・アジアで増加
 等速シヨイント：北米は横ばい、欧州ルノー向け・国内で増加
 精密機器商品等：国内で増加

'04年3月期 軸 受：国内・欧州・アジアで増加
 等速シヨイント：国内・北米は横ばい、欧州・アジアで増加
 精密機器商品等：国内で増加

単位：億円

	前中間期 ('02/9)	当中間期 ('03/9)	対前中間期 増減	前期 ('03/3)	当期(予想) ('04/3)	対前期 増減
軸 受	1,085	1,121	36 (6)	2,207	2,260	53 (22)
等速シヨイント	474	506	32 (8)	989	1,020	31 (7)
精密機器商品等	110	128	18 (1)	232	250	18 (1)
(計)	1,668	1,755	87 (15)	3,427	3,530	103 (28)

カッコ内は前期に対する為替による増減額

3. 地域別売上高

'03年9月中間期 日 本 : 一般機械・代理店向け軸受・精機商品等が増加、CVJも好調
 北 米 : 自動車向け・一般機械向け軸受が減少
 欧 州 : ルノー向けCVJが増加、軸受も主に自動車向けで好調
 アジア他 : 軸受が増加
 '04年3月期 日 本 : 一般機械・代理店向けが増加、CVJは堅調
 北 米 : CVJは横ばい、一般機械向け軸受が減少
 欧 州 : CVJが増加、軸受も主に自動車向けで好調
 アジア他 : 軸受が増加、中国生産会社も寄与

単位: 億円

	前中間期 ('02/9)	当中間期 ('03/9)	対前中間期 増減	前期 ('03/3)	当期(予想) ('04/3)	対前期 増減
日 本	810	855	45	1,700	1,730	30
北 米	470	439	31 (14)	927	870	57 (49)
欧 州	228	283	55 (33)	479	560	81 (31)
ア ジ ア 他	161	178	17 (4)	322	370	48 (10)
(計)	1,668	1,755	87 (15)	3,427	3,530	103 (28)

カッコ内は前期に対する為替による増減額

4. 事業構造改革と営業利益の増減 (対'02年3月期下半期比較)

単位:億円

		'02年3月期	'03年3月期		'04年3月期	
		下半期	上半期	下半期	上半期	下半期(予想)
営業利益 (売上高営業利益率)		32 (2.0%)	84 (5.0%)	124 (7.0%)	113 (6.4%)	137 (7.7%)
営業利益増減要因	構造改革原低額		57	82	132	194
	規模		43	78	66	77
	為替レート差		2	3	10	9
	売価低下		17	25	44	58
	比例費		9	19	31	36
	人件費 (内 '02/3下半期一時的対策)		(8)	(8)	(8)	(8)
	経費		3	8	13	33
	新規中国3社の影響		-	1	4	3
	連結調整		8	6	5	6
(計)			52	91	81	105

5. 営業利益増減説明

	中間 合計	年間 合計
構造改革		
外部調達価格の低減	49	108
人件費削減	21	66
物流費削減	4	11
その他	1	2
合計	75	187

単位: 億円

規模の影響	23	22
為替レート差	12	0
売価低下	27	60
比例費低減	27	69
人件費低減	6	43
経費低減	11	29
中国新規設立会社	4	6
連結調整	3	3
	<hr/>	<hr/>
	29	42

単位: 億円



中間 +29億円

年間 +42億円



6 . 棚卸資産・有利子負債

・棚卸資産

単位: 億円

	前期 ('03/3)	当中間期 ('03/9)	対前期 増減	当期(予想) ('04/3)	対前期 増減
棚卸資産	927	908	20	820	107
(国内)	(482)	(466)	(16)	(420)	(62)
(海外)	(445)	(442)	(4) (24)	(400)	(45) (28)
回 転 率	3.7回	3.9回	0.2回	4.3回	0.6回

カッコ内は前期に対する為替による増減額

・有利子負債

単位: 億円

	前期 ('03/3)	当中間期 ('03/9)	対前期 増減	当期(予想) ('04/3)	対前期 増減
有利子負債	1,614	1,798	184	1,590	24
(国内)	(1,093)	(1,295)	(202)	(1,020)	(73)
(海外)	(521)	(503)	(18) (26)	(570)	(49) (38)

カッコ内は前期に対する為替による増減額

7. 設備投資・資金源泉

単位：億円

	前中間期 ('02/9)	当中間期 ('03/9)	前期 ('03/3)	当期(予想) ('04/3)
設備投資	94	179	253	400
(国内)	(56)	(95)	(133)	(210)
(海外)	(38)	(84)	(120)	(190)

単位：億円

	前中間期 ('02/9)	当中間期 ('03/9)	前期 ('03/3)	当期(予想) ('04/3)
減価償却費	113	116	238	245
(国内)	(69)	(69)	(148)	(150)
(海外)	(44)	(47)	(90)	(95)
当期純利益	27	63	27	120
合計 (資金源泉)	140	179	265	365

8. キャッシュ・フロー

For New Technology Network

NTN

単位: 億円

	前中間期 ('02/9)	当中間期 ('03/9)	前期 ('03/3)
・営業活動によるキャッシュ・フロー	289	42	484
税金等調整前純利益	48	99	62
減価償却費	115	116	238
早期退職優遇制度による退職金等の支払額	-	204	-
棚卸資産の減少額	24	8	42
売上債権の減少額(増加額)	29	1	36
仕入債務の増加額(減少額)	50	32	126
法人税等の支払額	7	22	28
・投資活動によるキャッシュ・フロー	104	147	241
有形固定資産の取得	103	168	248
・財務活動によるキャッシュ・フロー	80	205	99
短期・長期借入金の純増加額(減少額)	73	89	83
社債発行による収入	-	300	-
配当金支払額	12	12	23
・現金及び現金同等物に係る換算差額	2	5	3
・現金及び現金同等物の増加額	103	11	141
・現金及び現金同等物の期首残高	361	502	361
・現金及び現金同等物の期末残高	464	514	502

事業構造改革「NEW Plan21」 の進捗と今後の戦略

平成15年11月11日

NTN株式会社

代表取締役社長 鈴木泰信

代表取締役副社長 後藤雍裕

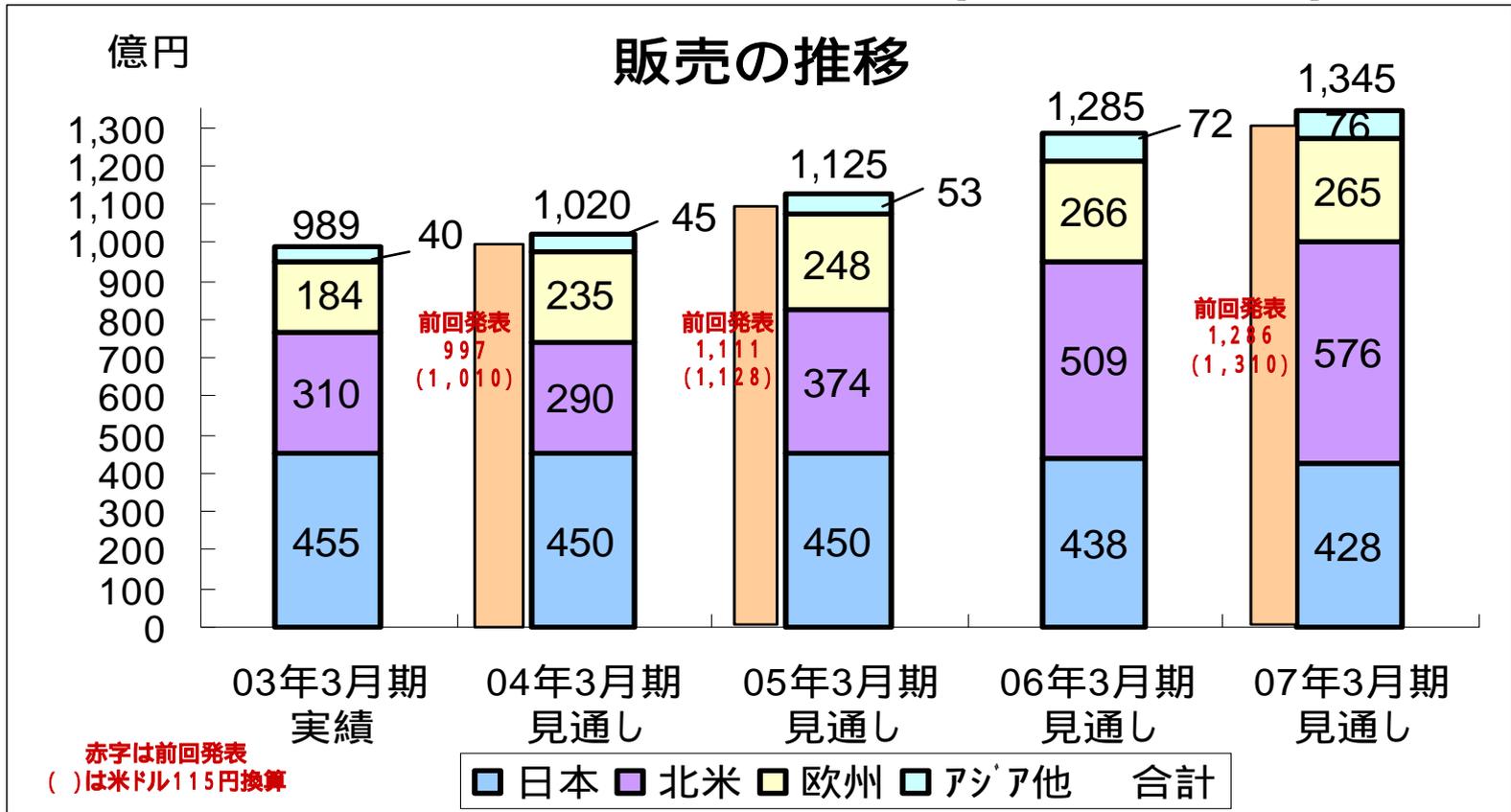
常務取締役 泊 浩之

本資料、プレゼンテーションおよび引き続き行われる質疑応答の際の回答には、将来の業績見通し、事業戦略が含まれており、それらは現在入手可能な情報から得られた当社経営者の判断に基づいております。

これらの将来的予測に基づく記載や発言は将来の実績を保証するものではなく、実際の結果が製品に対する需要変動、為替変動、金利変動などの様々な要素により、業績見通しとは異なる結果となりうることをご承知おき下さい。

1. 営業開発の成果

G A M制度の成果による受注増大（等速ジョイント）



為替レート

実績: US\$122円, EURO121円

見通し: US\$110円, EURO125円

新規受注案件

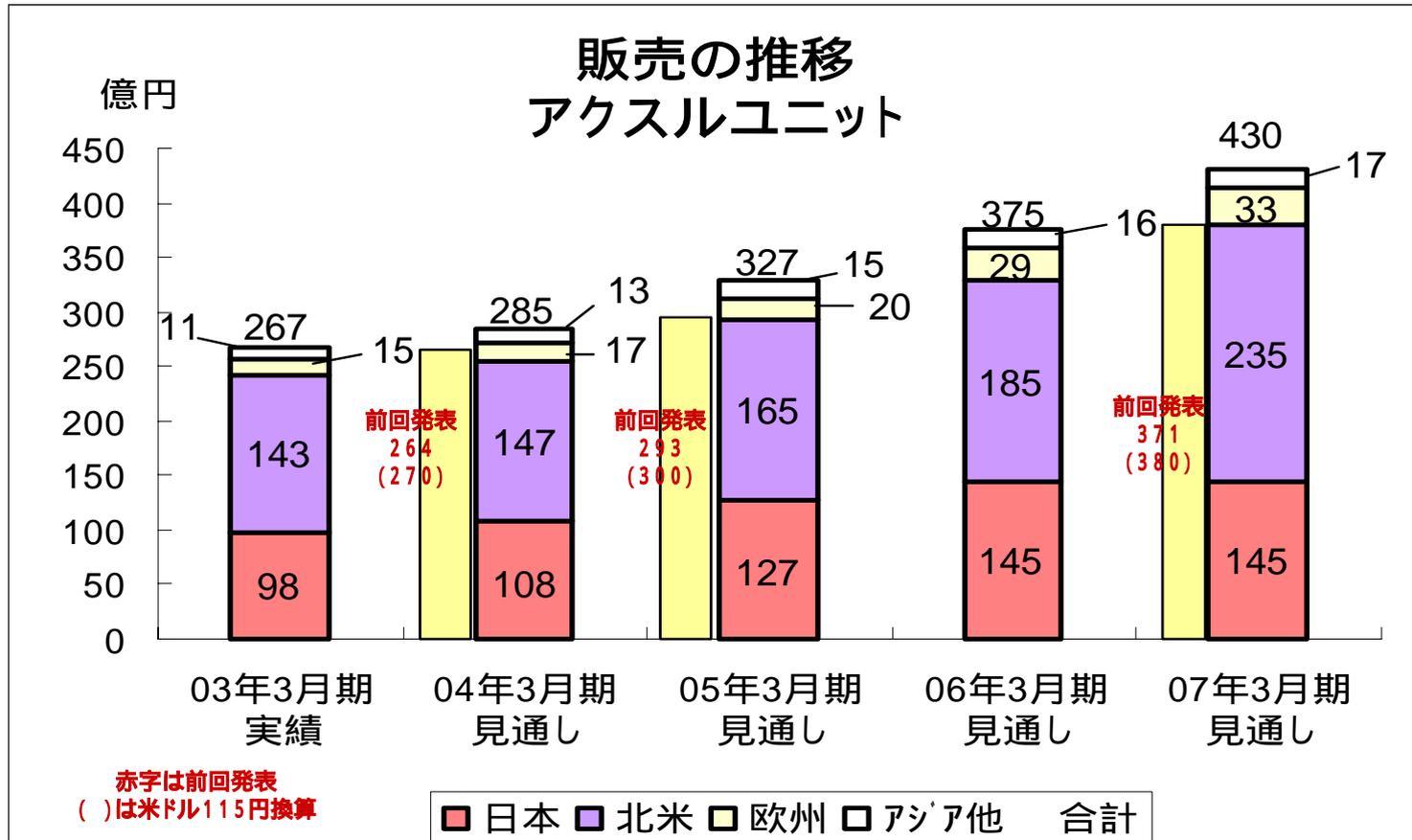
北米ビック3系・日系向け 12.5億円/年 2006年3月期以降

アジア日系・ティア1系向け 16億円/年 2006年3月期以降

北米ビック3系向け 76億円/年 2007年3月期以降

1. 営業開発の成果

G A M制度の成果による受注増大（アクスルユニット）

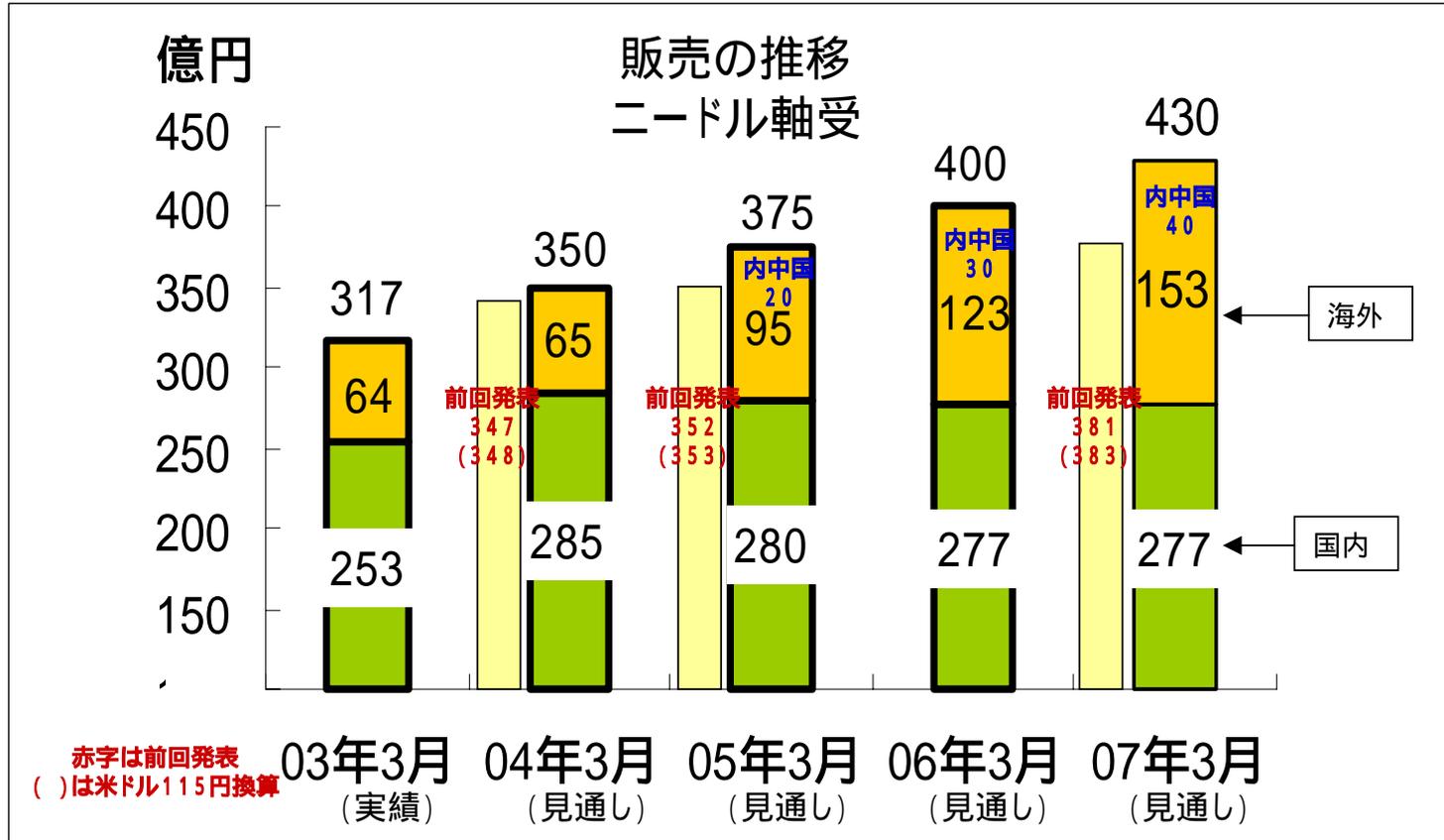


為替レート
実績: US\$122円, EURO121円
見通し: US\$110円, EURO125円

新規受注案件
 日本日系向け3世代ハブ 15億円/年 05年3月期以降
 北米ビック3系向け3世代ハブ 16億円/年 05年3月期以降
 欧州日系・欧州系向け1,3世代 3億円/年 05年3月期以降
 北米ビック3系3世代テ-ハ-ハブ 50億円/年 07年3月期以降

1. 営業開発の成果

G A M制度の成果による受注増大（ニードル軸受）



為替レート
実績: US\$122円、EURO121円
見通し: US\$110円、EURO125円

新規受注案件
アジア日系向けトランスミッション用 3.4億円/年 05年3月期以降
中国 常州NTNでの販売効果
05年3月期 20億円/年 06年3月期 30億円/年
07年3月期 40億円/年

1. 営業開発の成果

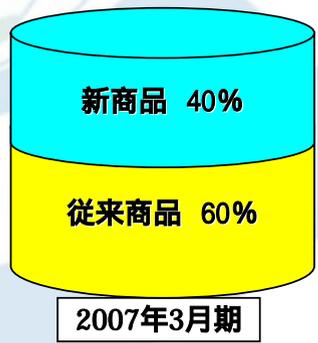
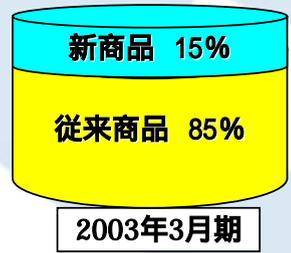
戦略商品販売拡大のための新商品開発

等速ジョイント



8個ホ-ルCVJで世界をリード

新商品Eシリーズの
売上高に占める比率



1. 営業開発の成果

戦略商品販売拡大のための新商品開発

アクスルユニット

乗用車用3世代ハブベアリング



トラック用テーパハブベアリング



軽自動車用3世代ハブベアリング



超軽量(1Kg)

FAテーパローラベアリング

従来品

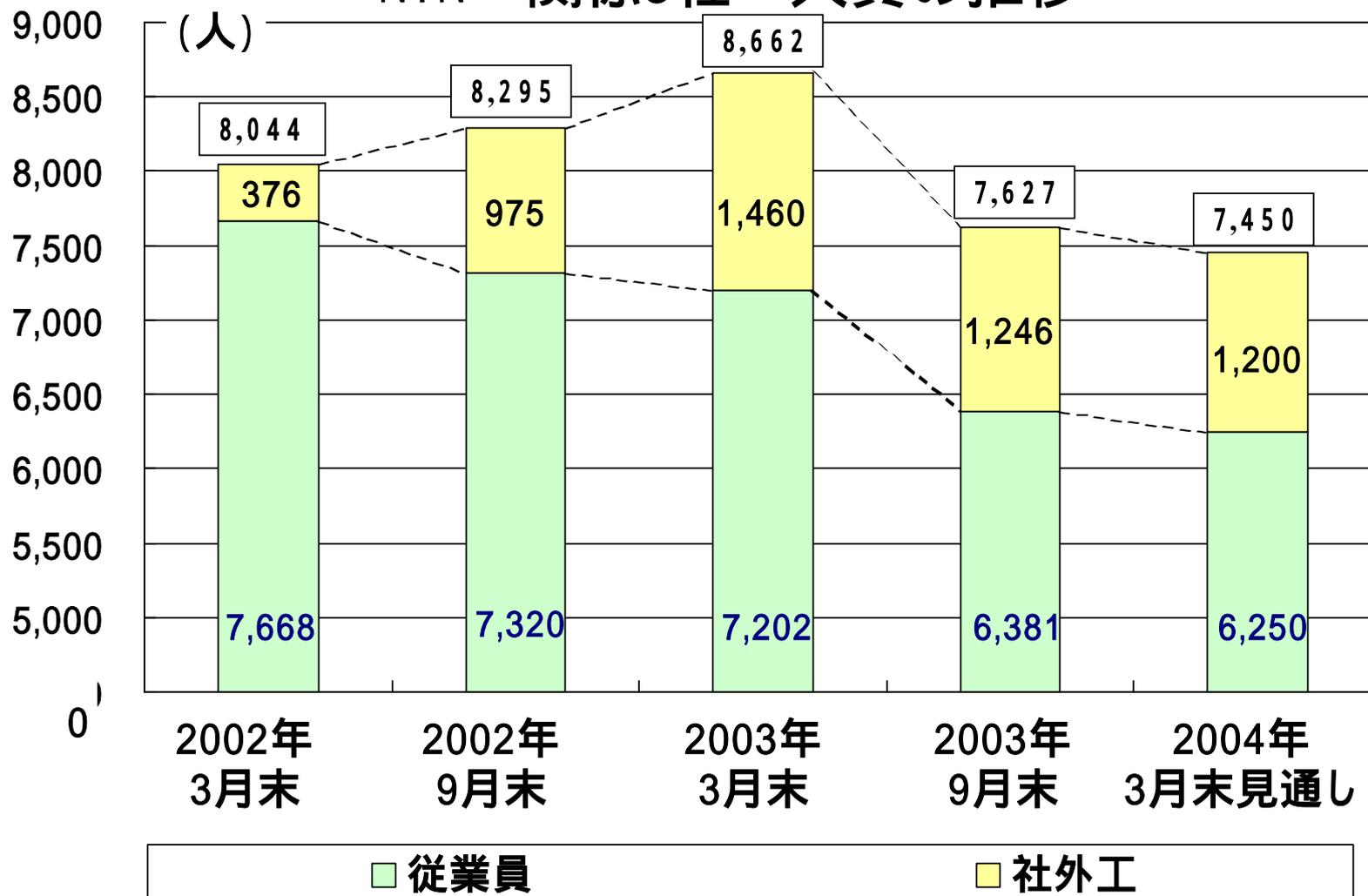
FA軸受



長寿命

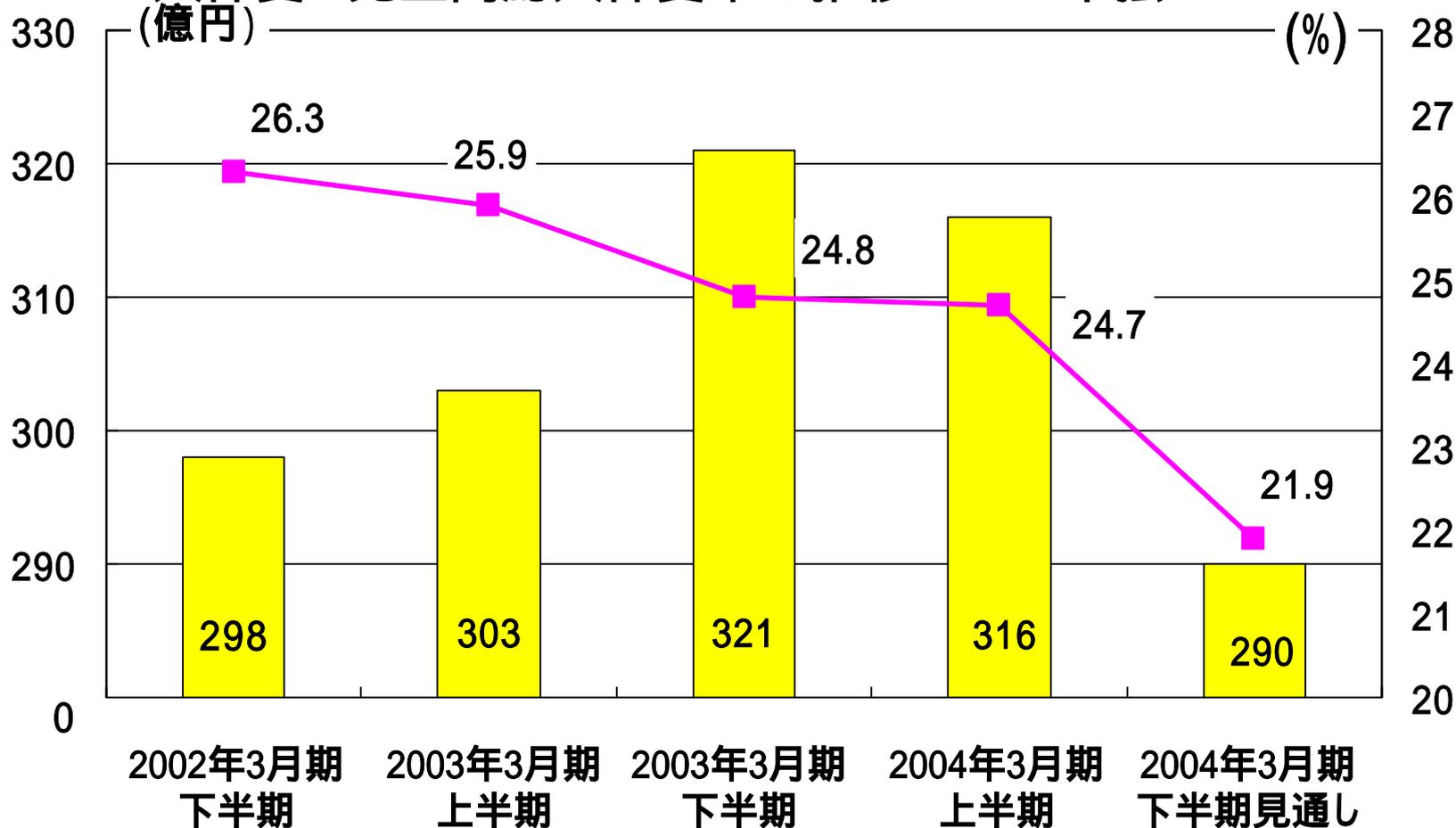
2. 人件費構造改革の成果

< NTN + 関係3社 > 人員の推移



2. 人件費構造改革の成果

人件費と売上高総人件費率の推移 < NTN単独 >



■ 人件費

■ 売上高総人件費率

$$\text{総人件費} = \text{人件費} + \text{業務委託費}$$

3. 中国戦略 中国事業の現状



3. 中国戦略

中国戦略の構想(生産)

「世界への供給基地」から「世界の大需要地」へと変貌する中国の戦略

戦略商品

等速ジョイント (NTNマジョリティでの経営)

大手自動車メーカーに近い場所での組立
広州NTN裕隆 (広州)

現代・起亜自動車向けを中心とした組立

北京瑞韓NTN (北京)

競争力のある半製品・部品供給
上海NTN (上海)

アクスルユニット (NTNマジョリティでの経営)

日系メーカー・現地メーカー向け等
上海NTN (上海)

ニードル軸受、クラッチリリース軸受等

中国企業との協業による販売拡大
常州NTNでの生産

基幹商品

標準小型ボールおよびテーパーローラー

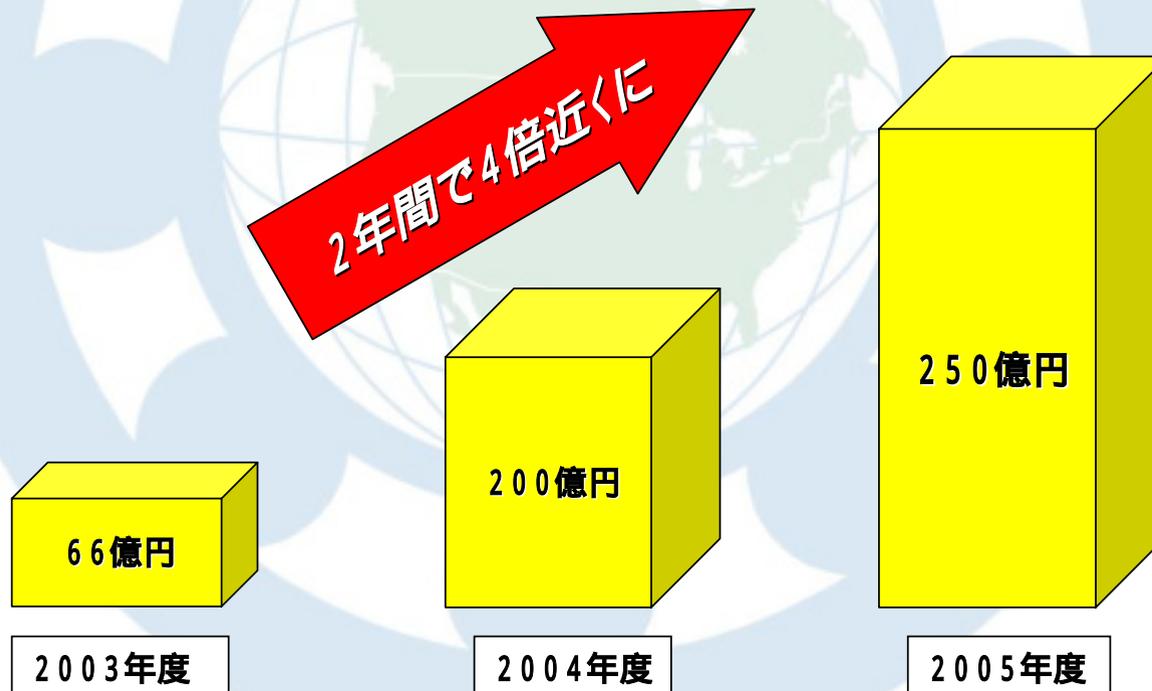
上海東培(上海) および上海NTN (上海) を中心としたNTNグループ全体での
価格競争力のある軸受の生産再編

3. 中国戦略

中国戦略の構想(販売)

「世界への供給基地」から「世界の大需要地」へと変貌する中国の戦略

中国事業の総売上規模計画推移
(数値は連結対象会社の外売リベース)



4. 流体動圧軸受事業の展望



(NTN日本電産(浙江)有限公司)



(3.5インチHDD用動圧軸受ユニット)



(ユニット分解写真)



(新型流体動圧軸受ユニット)

需要増加に対応するための量産体制の強化

小型HDD用流体動圧軸受ユニットの世界標準化

来春月産400万個、来年度末に月産800万個へ

新型流体動圧軸受ユニットの開発と市場投入

HDD用流体動圧軸受ユニットの
 世界シェア40%目標

**流体動圧軸受：NTNグループ全体で
 月産約1000万個へ拡大**

投資額(中国、タイ、日本合計)
 月産2百万個(2003年末)迄の初期投資 42億円
 追加3百万個に必要な投資 30億円



(NTNマニュファクチャリング(タイランド)社)

5 . 生産再編成 商品別再編成

部品・工程別に価格競争力のある最適地生産

戦略商品

等速ジョイント

- ・需要増に対する生産体制確立
 NDI：90万本体制へ
 NTE：45万本体制へ
- ・部品・工程別に価格競争力のある最適地生産へ

アクスルユニット

- ・需要増に対する生産体制確立
 岡山工場
 エルジン工場
- ・需要地生産を基本とし、部品調達に関しては100%現地調達へ

ニードル軸受

- ・特性技術による再編
- ・部品・工程別に価格競争力を追求

基幹商品

ミニアチュア・小径 小型ボールBrg

- ・一部は中国
 上海東培で
- ・その他は、
 日本：磐田
 北米：カナダ工場
 中国：上海NTN

中型・大型ボールBrg

三重新工場（仮称）での生産開始へ

テーパーローラBrg

- ・インダストリー系テーパーBrgはNTN・BOWERへ集約
- ・一部は宝塚から岡山へ集中、一部桑名へ移管

5 . 生産再編成 地域別再編成（日本）



5 . 生産再編成 地域別再編成（アセアン・欧州）

タイ工場 (NMT)

- ・等速ジョイント: 現地調達化の推進
- ・ニードル軸受: 生産拡大
- ・流体動圧軸受: 能力増強

NMT

ドイツ工場

- ・生產品目の見直し
高付加価値商品へ特化
(アクスルユニット、オートテンション他)

ドイツ工場

フランス工場 (NTE)

- 等速ジョイント生産能力増強
450千本/月体制(2007年3月期)へ

NTE

5 . 生産再編成 地域別再編成（北米）

